

# 新人乗務員座学・実技教習計画

本計画は、弊社に乗務員として採用された者（以下新入社員）に対して、座学・実技教習を計画的に実施し、安全運行の為の教習を行うものとする。

## 1: 教習

### (1) 対象者

弊社に乗務員として採用された、全ての新入社員  
(経験者・未経験者を問わず)

### (2) 教習担当者

統括運行管理者及び運行管理者、運行管理補助者に準ずるもの

### (3) 使用車両

弊社所有のマイクロバス

### (4) 教習内容

座学 (10 時間以上) ・実技教習 (20 時間以上) 整備管理・運転・挨拶等

### (5) 教習期間

ア、3 ヶ月間 (新入社員の成長状況によっては、この限りでない)  
イ、段階毎に見極めを行う (見極めは統括運行管理者が決定する)

## 2 : 教習プログラム

### (1) 1 段階

(ア) 2 日間 座学 (運転士として基礎の講習 5 時間×2 日間)

※バス事業者のための初任運転士に対する指導教育テキスト利用

※新入社員の希望により、分割研修も認める

(イ) 4 日間 実技研修 (5 時間×4 日間)

①車庫にて、整備点検指導、車両感覚訓練、車庫入れ、縦列駐車等教習

②前日の教習結果を踏まえ、路上走行、車庫にて教習

※表示時間は最低対応時間とする

※本人の希望する乗務内容に合わせ、研修内容を統括運行管理者が決定

※新入社員の希望により、分割研修も認める

(2) 2段階

(ア) 貸切送迎の運行（入社より凡そ3か月間）

(イ) 3か月終了時、1段階及び2段階の教習見極めが終了していない者は、再度見極めを行い、採用の是非を確認（統括運行管理者が決定）

## 4：採用者の身分

(1) 採用時、試用期間として採用（マイクロ）

(2) 実技研修、2段階目の者は身分を契約社員（嘱託社員）とする

(3) 実技研修修了者は、統括運行管理者判断の上、本人の希望を確認し、正社員として採用  
（但し、年齢等を考慮し契約を更新する）

## 5：その他

(1) 新入社員研修の座学については、運行管理者が担当する

(2) 年齢は問わず、健康診断、座学・実技研修の結果をもって、採用を決定する。

## 弊社の初任運転者教育（内容明細）

### A. 初任運転者教育の実施順序

- ①運転記録証明書の取得
  - ②適性診断の受診
  - ③座学（10 時間以上）
  - ④実技（20 時間以上）
  - ⑤見きわめ
  - ⑥選任
- ※上記順序が変更となる場合もあります

### B. 初任運転者教育の内容

- ①運転記録証明書の取得
- ②適性診断の受診

運転記録証明書を取得したら、次に適性診断を受診します。

適性診断を受診する理由は、初任運転者個人の特性を見きわめて、その人に合った教育プログラムを作成するためです。

- 1) 初任診断 一般的には、この初任診断となります。
- 2) 適齢診断 初任運転者が 65 歳以上だったときにはこの適齢診断となります。
- 3) 特定診断 運転記録証明書の内容により、下記の診断となります。

#### 特定Ⅰ診断

- ①死亡又は重傷事故を起こし、かつ当該事故前の 1 年間に事故を起こしたことがない者
- ②軽傷事故を起こし、かつ、当該事故前の 3 年間に事故を起こした事がある者

#### 特定Ⅱ診断

死亡又は重傷事故を起こし、かつ、当該事故前の 1 年間に事故を起こした者

- ③座学 のべ 10 時間以上（講師 統括運行管理者、運行管理者、整備管理者）

- 1) 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項
- 2) 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- 3) 運行の安全及び旅客の安全を確保するための留意すべき事項
- 4) 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- 5) 安全の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適正な運転方法
- 6) ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正

- ④実技 のべ 20 時間以上（講師 統括運行管理者、運行管理者、運行管理補助者、整備管理者）

- 1) 弊社のバスを利用し、運行管理者または運転士が添乗し、20 時間以上運転講習
- 2) ドライブレコーダーによる動画保存（3 年間保存）
- 3) 弊社の標準的な行程を全コース、必ず実技運行して頂きます。
- 4) 運行指示書の読み方、行程変更時のルール講習
- 5) 運行記録計（デジタコ）の利用方法講習、運行日報の記載講習

- ⑤見きわめ

最終的な講習修了の判断を統括運行管理者添乗にて、見きわめます

C. 弊社の初任運転者教育での保存書類について

①点呼簿&日常点検簿

初任運転者教育の現地訓練は、実務の予行演習です。  
実車と同じプロセスで出庫するようにします。

②運行指示書

指示書も作成して、読み方や修正の仕方なども勉強させましょう。

③ドライブレコーダー映像

映像を保管します。

④運行記録計のデータ

デジタル記録計にてデータを残します。

⑤日報

実務の予行演習として、日報も書かせて保管します。